

# 墨田区議会だより

第 47 号

発行 昭和61年 4月21日  
 発行所 墨田区議会事務局  
 〒130 墨田区横網一の6-1  
 電話 626-3151(大代表)



四月七日、区内の小学校で一斉に入學式が行われました。こ菊川小学校でも、六十九人の新入生たちが、胸に真新しい名札をつけて元気に登校し、さっそく校庭を走りまわる姿が見られました。

## 墨田区公文書公開条例を可決

昭和61年

第1回定例会

より開かれた区政を目指し、10月1日スタート

墨田区議会は、昭和六十一年第一回定例会を、去る三月三日から三十一日までの二十九日間わたって開きました。

本会議初日の三日は、区長が昭和六十一年度における施政方針演説を行い、厳しい財政環境の下で健全財政を維持しながら区の歴史、風土を生かした活力あるまちづくりの実現、区の将来を担う青少年の健全育成、効果的に開かれた新しい区政の実現に努めていくなど、区政運営の基本的な考えを述べました。

### 五名の議員が一般質問

本会議二日目の五日は、始めに、三月四日付で就任した奥山助役及び川嶋収入役からあいさつがあった後、一般質問に入り五日、六日の二日間わたって五会派から一名づつの議員が質問を行い、区長、教育長の考えを聞きました(二・三面参照)

翌七日は、議案二十六件を議題とし、提案理由の説明を聴取し、所管の各委員会に審査を付託した後、本会議を一時休憩して、職員給与の関連議案三件を委員会で審査し、いずれも原案どおり可決することと決定しました。

その後、本会議を再開し、委員会で審査した議案三件を、原案どおり全会一致で可決しました。引き続き、議案六件を議題とし、提案理由の説明を聴取した後、所管の各委員会に審査を付託しました。その中で、昭和六十一年度墨田区一般会計予算

### 議決した意見書(要旨)

#### 隅田川護岸の緩傾斜化促進に関する意見書

隅田川沿岸は、「桜橋」や新国技館の完成及び江戸・東京博物館の立地が予定され、その魅力が復活されつつある。しかし、その護岸は切り立ったコンクリート護岸で、水と親しむには護岸の改良による水辺環境の整備が必要である。隅田川を都民が憩える川とし、沿岸地域の活性化を図るため隅田公園一帯並びに両国地区において、災害等の安全を確保しつつ、隅田川護岸の緩傾斜化により積極的に取り組まれるよう強く要望する。建設大臣・東京都知事あて

#### 都営地下鉄十二号線環状部の延長を求める意見書

本区の南北を結ぶ大衆輸送機関の実現は、区民の願望であり、加えて、総合庁舎・タウンホールの建設が吾妻橋一丁目決定した。十二号線の延長は、総合庁舎への足の確保に必要であり、隅田川文化ゾーンの形成にも期待される。国及び都の財政問題等を認識しつつも、本区の交通事情の改善と、総合庁舎・タウンホールへの大衆輸送機関として、都営地下鉄十二号線環状部の吾妻橋への延長に特段の配慮をされるよう強く要望する。運輸大臣・建設大臣・東京都知事あて

多数で原案どおり可決し、「公文書公開条例」ほか二十一議案は全会一致で可決しました。又、各委員会が審査した請願三件、陳情三件は委員会審査報告どおり全会一致で決定しました。

続いて、議員から提出された「隅田川護岸の緩傾斜化促進に関する意見書」など意見書二件は、全会一致で原案どおり可決しました。

#### 昭和六十一年度予算を可決

定例会最終日、三十一日の本会議では、各委員会で審査した議案等を議題とし、その中で、昭和六十一年度墨田区一般会計予算など予算三件、条例四件に對し、日本共産党が反対、公明党、新自由・民社クラブ、区民クラブの賛同を得て自由民主党が賛成の討論を行った後、賛成を閉じました。

### 会議開会状況

2月28日	臨時委員会	議員	会派
3月3日	定例会	議員	会派
3月5日	区議会	議員	会派
3月6日	本議会	議員	会派
3月7日	本議会	議員	会派
3月11日	特別委員会	議員	会派
3月12日	特別委員会	議員	会派
3月13日	特別委員会	議員	会派
3月14日	特別委員会	議員	会派
3月17日	特別委員会	議員	会派
3月18日	特別委員会	議員	会派
3月19日	特別委員会	議員	会派
3月22日	特別委員会	議員	会派
3月24日	特別委員会	議員	会派
3月26日	特別委員会	議員	会派
3月27日	特別委員会	議員	会派
3月28日	特別委員会	議員	会派
3月31日	特別委員会	議員	会派

一般質問

「墨田区行政改革大綱」の推進に努力

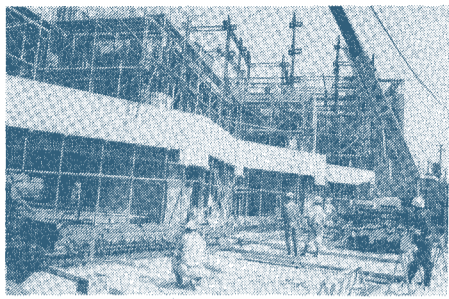
区長答弁

今定例会の三月五日と六日の二日間にわたり、五会派から五名の議員が一般質問を行いました。

新年度予算の編成方針と重点施策は 自由民主党

問 本区をとりまく厳しい社会経済情勢を踏まえ、昭和六十一年度予算編成における基本的な考え方について区長の所見を伺いたい。

答 本区をとりまく厳しい社会経済情勢を踏まえ、昭和六十一年度予算編成における基本的な考え方について区長の所見を伺いたい。



建設中の曳舟文化センター

又、墨田区基本構想の五つの都市像づくりの推進に関して、それぞれのまちづくりを進める中で、本区の特性を生かして行くべきだと考えるが、重点的施策の方向についてどのように考えているか。さらに、現在、本区では、長年の念願であった総合庁舎の建設を始め、曳舟文化センター、総合福祉保健センター、婦人会館等、大規模施設の建設が計画されているが、それらに伴う将来の財政負担をどのようにみているか、又、財政計画をどう展望しているのか、区長の考えを伺いたい。

答 住民に最も身近な基礎的自治体として、区政の命題でもある区民福祉の向上を図るためには、より踏み込んだ新しい視点からの見直しを行い、行財政の対応能力を一層高める必要がある。こうした認識に立って、引き続き健全財政を堅持しつつ基本構想実現に向けての諸施策を積極的に実施するとともに、効率的な行政運営の確保を図る。

又、昨年九月、区長の諮問機関として、区民及び学識経験者等の方々により、活力ある個性豊かな墨田区を目指す「墨田区行政改革懇談会」が設置された。区長は「新しいまちづくりと行政の役割」について諮問し、その提言を求めている。現在まで五回開催されていると聞いているが、検討の具体的な内容と今後の見通しについて伺いたい。

問 本区は、昨年五月「墨田区行政改革推進本部」を設置し、昭和六十一年度から三ヶ年を特に行政改革推進期間とし、更に以前から取り組んできた行財政運営の改革実績を踏まえて、昨年十二月に行政改革大綱を策定した。

問 昭和三十九年度予算において行政改革の結果がどのように反映されているのか伺いたい。



オープンした中小企業センター

又、本予算に大きな影響を与えたと思われる国の補助金カットは、どの程度の額になったのか。さらに、この措置に対して区長会としてどのような行動をとられたのか併せて伺いたい。

問 昭和三十九年度予算編成にあたり、円高不況、国の補助金カット等の問題がある中で、大規模施設の建設に取り組まなければならないなどの課題を抱え、どのような点に留意されたのか伺いたい。

答 昭和三十九年度予算において行政改革の結果がどのように反映されているのか伺いたい。

問 昭和三十九年度予算編成にあたり、円高不況、国の補助金カット等の問題がある中で、大規模施設の建設に取り組まなければならないなどの課題を抱え、どのような点に留意されたのか伺いたい。

問 昭和三十九年度予算編成にあたり、円高不況、国の補助金カット等の問題がある中で、大規模施設の建設に取り組まなければならないなどの課題を抱え、どのような点に留意されたのか伺いたい。

予算編成における国の補助金カットの影響は 公明党

問 昭和三十九年度予算編成にあたり、円高不況、国の補助金カット等の問題がある中で、大規模施設の建設に取り組まなければならないなどの課題を抱え、どのような点に留意されたのか伺いたい。

問 昭和三十九年度予算編成にあたり、円高不況、国の補助金カット等の問題がある中で、大規模施設の建設に取り組まなければならないなどの課題を抱え、どのような点に留意されたのか伺いたい。

臨調「行革」を問う 日本共産党

問 臨調「行革」五年目、昭和六十一年度政府予算案は、軍事栄えて福祉、教育が枯れた予算となっており、しかも、老人医療費の負担増額、年金の改悪など社会保障制度の根幹にかかわる制度の改悪を伴っている。政府が強行してきた臨調「行革」路線とは、まさに軍拡、大企業奉仕、国民生活を犠牲にするものである。公選区長、政治家として区長はどう考えるか。

問 臨調「行革」五年目、昭和六十一年度政府予算案は、軍事栄えて福祉、教育が枯れた予算となっており、しかも、老人医療費の負担増額、年金の改悪など社会保障制度の根幹にかかわる制度の改悪を伴っている。政府が強行してきた臨調「行革」路線とは、まさに軍拡、大企業奉仕、国民生活を犠牲にするものである。公選区長、政治家として区長はどう考えるか。

交通政策を推進せよ 区民クラブ



仲良く遊ぶ子供たち

問 臨調「行革」五年目、昭和六十一年度政府予算案は、軍事栄えて福祉、教育が枯れた予算となっており、しかも、老人医療費の負担増額、年金の改悪など社会保障制度の根幹にかかわる制度の改悪を伴っている。政府が強行してきた臨調「行革」路線とは、まさに軍拡、大企業奉仕、国民生活を犠牲にするものである。公選区長、政治家として区長はどう考えるか。

問 臨調「行革」五年目、昭和六十一年度政府予算案は、軍事栄えて福祉、教育が枯れた予算となっており、しかも、老人医療費の負担増額、年金の改悪など社会保障制度の根幹にかかわる制度の改悪を伴っている。政府が強行してきた臨調「行革」路線とは、まさに軍拡、大企業奉仕、国民生活を犠牲にするものである。公選区長、政治家として区長はどう考えるか。

問 臨調「行革」五年目、昭和六十一年度政府予算案は、軍事栄えて福祉、教育が枯れた予算となっており、しかも、老人医療費の負担増額、年金の改悪など社会保障制度の根幹にかかわる制度の改悪を伴っている。政府が強行してきた臨調「行革」路線とは、まさに軍拡、大企業奉仕、国民生活を犠牲にするものである。公選区長、政治家として区長はどう考えるか。

問 臨調「行革」五年目、昭和六十一年度政府予算案は、軍事栄えて福祉、教育が枯れた予算となっており、しかも、老人医療費の負担増額、年金の改悪など社会保障制度の根幹にかかわる制度の改悪を伴っている。政府が強行してきた臨調「行革」路線とは、まさに軍拡、大企業奉仕、国民生活を犠牲にするものである。公選区長、政治家として区長はどう考えるか。

問 臨調「行革」五年目、昭和六十一年度政府予算案は、軍事栄えて福祉、教育が枯れた予算となっており、しかも、老人医療費の負担増額、年金の改悪など社会保障制度の根幹にかかわる制度の改悪を伴っている。政府が強行してきた臨調「行革」路線とは、まさに軍拡、大企業奉仕、国民生活を犠牲にするものである。公選区長、政治家として区長はどう考えるか。

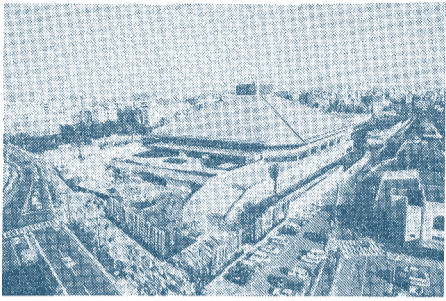
# 再開発計画に地元の意見をくみ

## 上げよ

### 新自由・民社クラブ

問 両国地区は、隅田川文化の源流として一大文化都市を目指し、国内はもとより海外からも広く江戸・東京の文化を訪ね来るようなまちづくりが望まれる。そして、このまちづくりは墨田の活性化につながる必要がある。その再開発整備計画は地域住民をはじめ区民の関心の最も高いものである。

この両国地区再開発整備計画の作成に当り、どのような手法で、どんな機会をつくり地元の意見をくみ上げるのか、区長の



両国駅周辺地区

考え方を伺いたい。  
答 両国地区整備基本計画の作

成方法等は、江戸・東京博物館の基本構想づくりの状況もみながら現在検討中であるが、計画は将来にわたり地区整備の基本となるものであり、当然、地元意向も反映したものでなければならぬ。従って、計画策定の中で住民の意向把握を重要な作業と位置づけ、住民の方々の意見交換の機会を持つよう十分留意していく。

### 学校給食の効率化を

問 本区の学校給食は自校方式を採用し、それぞれの学校が、子供たちに手造りの愛情のこもった給食を提供していることは大変素晴らしいことである。しかし、厳しい経済環境の中で、経費の節減は行政改革を求め

区民の世論であり、人件費や管理経費の節減が急務となる。そこで将来、学校給食における栄養士の非常勤職員化及び給食調理員のパート職員化を導入する考えはないか、教育長の所見を伺いたい。

答 学校給食の効率化についていろいろな論議がなされているが、本区の給食のレベルは極めて高いものと自負している。現在、文部省の指導にもあつたとおり、給食の質の低下を招かないことを基本とし、自校方式の良さも生かしながら、提案のあつた給食調理員のパート職員化等も併せて、学校給食の効率化のため具体的な検討を進めている。近く、一定の結論を得る予定である。

# 61年度予算の審査から

## 61・3・7、18 予算特別委員会

区議会は、三月七日の本会議で区長から提案された昭和六十一年度の墨田区一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計の各予算を審査するために予算特別委員会を設置し三月七日から十八日まで、七日間にわたって委員会を開き、連日活発な議論を交わしました。

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎西原 文隆 ○原田 裕
  - 木内 清 堺 美穂子
  - 坂下 修 中沢 進
  - 西 恭三郎 土橋 正造
  - 加藤 耕造 坂岸 榮治
  - 武ノ内啓次郎 大和久常雄
  - 田中 左内 瀧澤 良仁
  - 柴田 昌男 原 正義
  - 湯本 令二 並木 保雄
  - 甚野 緑 青山 政雄

# 新年度予算に対する各会派の意見

## 自由民主党

賛成

## 公明党

賛成

## 新自由・民社クラブ

賛成

## 日本共産党

反対

## 区民クラブ(社会党)

賛成

今予算は、国庫補助の削減、貿易摩擦、急激な円高による区内地場産業への打撃等の社会経済情勢の中にあつて、前年度対比配慮されており高く評価する。この厳しい状況の中で編成された予算に、曳舟文化センター建設、総合福祉保健センター及び白鬚コミュニティセンター建設設計委託等の新規事業、各種福祉事業、放置自転車禁止区域設定、商業融資、不燃化促進助成事業を始めとする諸事業の拡充が盛り込まれており、我が党の要望した諸施策がきめ細かく配慮されており高く評価する。今後も「活力あるまちづくり」に積極的に取り組むと共に、行政の効率的運営を推進し、区民サービスの向上を図られたい。

我が党は、今予算に対し、百八十項目の予算要求を行った。その結果、総合福祉保健センター建設のための調査、桜橋コミュニティセンター建設、商業融資の拡大、きめ細かな福祉対策、中学生海外留学の増員、農村生活体験の実施などが実現した。教育における「いじめ」、老人対策における特別養護老人ホーム建設、行政改革の推進に問題点も残るが、区の努力を評価する。現在、区民は行政に対し、「公平」「親切」「節約」を厳しく求めている。墨田区は二十一世紀に向けて、総合庁舎タウンホールの建設という大事業をひかえている。発展する我が町すみのまちづくりのため、今予算を着実に執行されたい。

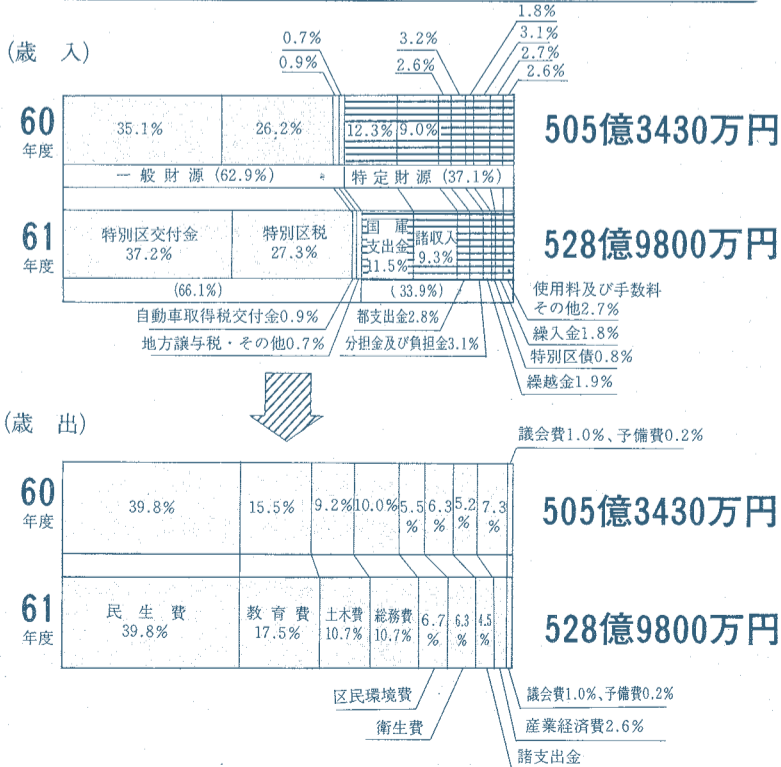
六十一年度予算は、人と緑と産業の調和した安全・快適・豊かな墨田をめざす五つの都市像づくりとして、特に中小企業センター開館を契機として進められる新たな中小企業対策、総合福祉保健センターや特別養護老人ホーム設置の具体化、駅周辺再開発、押上二丁目地区市街地再開発事業、両国駅周辺地区整備計画、一寺・言問地区防災まちづくり事業等、拠点開発に明るい見通しが出て来るなど、区民の期待に大きく応えたものだと評価致します。なお、子供たちの教育について、農山村体験学習等新たな施策が示されているが、今後とも学校と家庭、地域が一体となって、よりよい教育環境を築くよう努力されたい。

こんには区民生活の実態は、円高不況による倒産、失業の増大とますます厳しさを加えている。従って区民に最も身近な区政が区民生活を守ることに全力を傾注しなければならぬにかかわらず、中曽根自民党政府の悪政を容認して①国の負担金の大幅切り下げ、機関委任事務の超過負担の増大で六十五億円の区財政への押しつけ②区業務の民間委託の拡大による行政責任の転嫁③同和行政の不正の容認④教育行政で緊急に求められているいじめ克服対策が父母や教師の願いに応えられなくなっている⑤広範な区民の切実な願いである「非核平和墨田区宣言」に対して背を向けている等区長の政治責任は重大である。

区政は、その住民にとって最も身近な基礎的自治体である。都市経営の視点からも、町の活性化に欠くことのないものは交通機関であり、京成押上線の立体化促進、都営地下鉄の延長等の実現を働きかけ、教育区民福祉の向上に積極的に取り組む、又、中小企業が繁栄する富を構築する政策に、我が党は全力投球で頑張りたい。六十一年度予算は、国庫補助金が二年続いてカットされるなど厳しい財政環境の中で編成された。その規模は、一般会計、国保、老人医療特別会計を合わせ七百三十九億九千八百十十円となる。その内容は総花的であるが賛成する立場で、住民本位に執行されるよう強く要望する。

## 昭和61年度各会計予算 総額739億9810万円(5.0%増)

### 1. 墨田区一般会計予算 528億9800万円(4.7%増)



### 2. 墨田区国民健康保険特別会計予算 116億5520万円(1.6%増)

### 3. 墨田区老人保健医療特別会計予算 94億4490万円(11.0%増)

# 都営地下鉄12号線の延長を

## 意見書二件、要望書一件を提出

墨田区議会は、今定例会の最終日、三月三十一日の本会議で「都営地下鉄十二号線環状部の延長を求める意見書」及び「隅田川護岸の緩傾斜促進に関する意見書」を全会一致で議決しました。

又、区議会として、「東白鬚公園及び公園施設(運動施設)の管理に関する要望書」を決定し、四月四日、区議会から樋口

### 常任委員会の動き

#### 審査した主な議案

保しながら、隅田公園一帯と、江戸・東京博物館の立地が予定されている両国地区において、堤防の改善に積極的に取り組んでほしいというものです。

又、東京都が、白鬚東地区防災拠点内に建設を進めている公園及び少年野球場などの運動施設について、

#### 総務委員会

三月七日は、議案二件、二十七日は、議案十二件、請願・陳情十三件の審査を行いました。

その中で、「墨田区公文書公開条例」は、区政を一層開かれたものとし、公文書公開の請求権を区民の方に保障することを定めた条例案で、審査の結果、

#### 区民衛生委員会

三月七日、十九日

白州の真中で縄を掛けられた地蔵の前に、越前守のお裁き

### 浅草通り

(36)

都道補助百三三号線、通称「浅草通り」は、文京区本郷四丁目

境内の一角に通称「しぼられ地蔵」と呼ばれる地蔵尊がありました。地蔵を荒縄でしばると願いがかなうという民間信仰

鳥へ商いに行った帰り、業平橋近くの地蔵の脇でつい昼寝をして、商品の白もめんをすっきり

白州の真中で縄を掛けられた地蔵の前に、越前守のお裁き

白州の真中で縄を掛けられた地蔵の前に、越前守のお裁き

白州の真中で縄を掛けられた地蔵の前に、越前守のお裁き

白州の真中で縄を掛けられた地蔵の前に、越前守のお裁き

白州の真中で縄を掛けられた地蔵の前に、越前守のお裁き

### 第一回臨時会開く

#### 助役、収入役を選任

昭和六十一年第一回臨時会を二月二十八日、会期一日間で開きました。

今臨時会は、助役、収入役の任期が三月三日で満了となることに伴い、その後任を選ばため開いたものです。

本会議は、区長から助役と収入役の選任に同意を求めるその団体名と調査項目は次のとおりです。

#### つぎの区議会は

六月に開きます

### 墨田区を訪れた

#### 地方議会

今年二月に、墨田区を視察に訪れた地方議会が二団体あり

### 中学校の40人学級の実現を

#### 請願・陳情の審査結果

#### 採択としたもの

- ◆ 中学校における四十人学級完全実施を求める請願
- ◆ 中学校における四十人学級の早期実現に関する請願 (意見)
- ◆ 趣旨にそうよう努力されたい。
- ◆ 墨田区に「勤労者共済会」の設立を求める陳情
- ◆ 「勤労者共済制度」の設立に関する陳情 (意見)
- ◆ 趣旨にそうよう努力されたい。

#### 不採択としたもの

- ◆ 国民健康保険法改悪反対に関する請願 (意見)
- ◆ 公平負担の原則からもやむをえない措置であり、趣旨にそうことは困難である。

### あまがき

大勢の人々にぎわった墨堤の桜も、春風に吹かれて散ってしまいました。

区議会はただ今閉会中ですが、各種の委員会や、会派による調査活動などが精力的に行われています。

「区議会だより」は、今年度からすべて四ページとし、内容の充実に向けて、さらに努力してまいります。

区議会事務局 議事係

626-13151 内線246

区議会事務局 調査係

626-13151 内線247



しばられ地蔵、現在は葛飾区にある